

平成 26 年度 西宮市公共事業評価シート

【 1次評価結果 】

実施予定年度	H 25 年度 ~ H 32 年度
事業名	西宮浜総合公園整備事業
実施箇所	西宮浜3丁目
担当部署	局 土木局 部・室 道路公園部 課 公園緑地課

総合計画	まちづくり	うるおい・かいてき	33 節 緑の保全と創造
------	-------	-----------	--------------

事業の目的・内容	事業実施の背景となる問題・ニーズ 本公園は平成2年に都市計画公園として都市計画決定されており、現在は暫定整備の状態であるが既に多くの市民が利用している。総合計画や緑の基本計画等において、整備事業は具体的な施策に位置付けられており、また地域防災計画においては広域避難地に指定されている。				
	対象 市民を始めとする公園利用者				
	成果(対象をどのような状態にしたいか) 御前浜公園と一体的にプロムナード(遊歩道)空間を創出する「海のプロムナード公園」、にぎわいを生み市民に多様な楽しみを提供する「にぎわいのレクリエーション公園」、安全で誰もが安心して利用できる「安全安心の公園」、及び市民とともに公園づくりを行う「市民協働の公園」を目指す。				
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値
計画概要	事業規模 ・10.3ha(都市計画決定面積:10.3ha)				
	事業期間 ・平成25年度～平成32年度				
スケジュール	整備概要 海辺の散策路(主要園路) スポーツレクリエーションゾーン:多目的人工芝グラウンド(ハーフ)、スポーツ広場、自由広場、公園センター 多目的レクリエーションゾーン:北多目的広場 こどもの遊び場ゾーン:遊びの広場 にぎわい創出ゾーン:民間事業提案型による公園施設の整備・運営(事業プロポーザル方式)				
	年月または年度	取組内容			
	平成26年度以前	基本計画			
	平成27年度	基本設計及び実施設計			
	平成28年度	工事実施および実施設計			
	平成29年度	工事実施および実施設計			
	平成30年度	工事実施および実施設計			
平成31年度以降	工事実施および実施設計				

事業計画	予定事業費	1,664,384 千円	左記の内 国県支出(千円)	719,629	起債+一般財源(千円)	944,755
	事業による経済効果等	費用便益比(B/C) = 2.30	[国の指定算出方法に準拠] (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) 費用便益比は、「改訂第3版大規模公園費用対効果分析手法マニュアル(国土交通省)」により算出			

		判断事項	判断基準
客観的評価	必要性 緊急性	都市の災害に対する安全の確保	その他の防災に資する公園(都道府県地域防災計画、地震緊急事業五箇年計画等への位置づけ)
		計画への位置づけ	緑の基本計画に位置づけ
	効率性	公園事業間の連携	地方公共団体の公園同士の連携事業
		用地買収を行わない公園事業	借地方式、国公有地の活用
		民間活力の導入	公園施設整備への民間活力の導入等
	優良性 先導性	長寿・福祉社会への対応	バリアフリー化
		長寿・福祉社会への対応	DID区域内
		広域的レクリエーション活動への対応	都市基幹公園の整備
		その他	計画・設計への住民参加
		その他	管理への住民参加

懸案事項等	事業を実施しない場合の懸案事項等
	本公園は一部暫定整備を行い、既に多くの市民が利用しているが、未整備地は広範囲に及ぶため閉鎖などの現場管理が困難であり、公園予定地内での事件・事故の発生が危惧される。
	事業を実施した場合の懸案事項等
	特に無し

平成 26 年度 西宮市公共事業評価シート

【 2次評価結果 】

事業名	西宮浜総合公園整備事業
-----	-------------

(1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが見望ましい 3:計画の大幅見直しが見望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である)

評価委員会の 総合判断	1	計画どおりの実施が望ましい
	評価委員会の総合的な意見	
	<p>西宮浜総合公園整備事業については、計画どおり事業を実施することが妥当と判断する。</p> <p>なお、事業の実施にあたっての委員会の意見は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の公園整備のために、さらなるバリアフリー化を推進すること。 ・市民協働の公園運営(パークマネジメント)を慎重に行うこと。 ・市民の森及び地域ボランティア花壇について、緑のpromナードとの連携を図ること。 ・駐車場などの受益者負担について、公平化と適正化を図ること。 ・御前浜公園整備事業との一体的な整備・運営を推進すること。 	

平成 26 年度 西宮市公共事業評価シート

【 1次評価結果 】

実施予定年度	H 25 年度 ~ H 29 年度	実施箇所	西波止町 外
事業名	御前浜公園整備事業	課	公園緑地課
担当部署	局 土木局 部・室 道路公園部		

総合計画	まちづくり	うるおい・かいてき	33 節 緑の保全と創造
------	-------	-----------	--------------

事業の目的・内容	事業実施の背景となる問題・ニーズ 本公園は昭和21年に都市計画公園として都市計画決定されており、現在は未整備の状態であるが自然海浜として既に多くの市民が利用している。 総合計画や緑の基本計画等において、整備事業は具体的な施策に位置付けられており、また地域防災計画においては広域避難地に指				
	対象 市民を始めとする公園利用者				
	成果(対象をどのような状態にしたいか) 西宮浜総合公園と一体的にプロムナード(遊歩道)空間を創出する「海のプロムナード公園」、貴重な砂浜や生態系、史跡などを保全する「海浜保全の公園」、安全で誰もが安心して利用できる「安全安心の公園」、及び市民とともに公園づくりを行う「市民協働の公園」を目指す。				
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値
計画概要	事業規模 ・6.2ha(都市計画決定面積:11.4ha) 事業期間 ・平成25年度～平成29年度 整備概要 砂浜の小径(主要園路) 入口広場				
	スケジュール	年月または年度	取組内容		
	平成26年度以前	基本計画			
	平成27年度	基本設計及び実施設計			
	平成28年度	工事実施および実施設計			
	平成29年度	工事実施			
	平成30年度				
	平成31年度以降				

事業計画	予定事業費	183,638 千円	左記の内 国県支出(千円)	73,861	起債+一般財源(千円)	109,777
	事業による経済効果等	費用便益比(B/C) = 1.85 (国の指定算出方法に準拠) (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) 費用便益比は、「改訂第1版小規模公園費用対効果分析手法マニュアル(国土交通省)」により算出				

		判断事項	判断基準
客観的評価	必要性 緊急性	都市の災害に対する安全の確保	その他の防災に資する公園(市町村地域防災計画のみに位置づけ)
		計画への位置づけ	緑の基本計画に位置づけ
	効率性	公園事業間の連携	地方公共団体の公園同士の連携事業
		用地買収を行わない公園事業	借地方式、国有地の活用
	優良性 先導性	長寿・福祉社会への対応	バリアフリー化
		長寿・福祉社会への対応	DID区域内
		広域的レクリエーション活動への対応	緩衝緑地・緑道・地区公園の整備
		その他	計画・設計への住民参加
		その他	管理への住民参加
		その他	古都保存法、文化財保護法に基づく指定地及び周辺の保存・活用(国レベル指定)

懸案事項等	事業を実施しない場合の懸案事項等
	当該公園の海浜部は阪神間に残された数少ない自然海浜として既に多くの市民が利用しているが、未整備の状態であるため、安全安心の利用環境が確保できない。
	事業を実施した場合の懸案事項等
	パブリックコメントにおいて、利用者の増加に伴う迷惑花火やその他の迷惑行為の拡大を懸念する意見などが提出されている。

平成 26 年度 西宮市公共事業評価シート

【 2次評価結果 】

事業名	御前浜公園整備事業
-----	-----------

(1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが見望ましい 3:計画の大幅見直しが見望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である)

評価委員会の 総合判断	1	計画どおりの実施が望ましい
	<p>評価委員会の総合的な意見</p> <p>御前浜公園整備事業については、計画どおり事業を実施することが妥当と判断する。</p> <p>なお、事業の実施にあたっての委員会の意見は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の公園整備のために、さらなるバリアフリー化を推進すること。 ・市民協働の公園運営(パークマネジメント)を慎重に行うこと。 ・史跡の保全整備と公園整備事業との連携を図ること。 ・周辺住民の意向を考慮した公園整備を実施すること。 ・西宮浜総合公園整備事業との一体的な整備・運営を推進すること。 	